

～ポッチャ大会を開催しました～



7月1日(土)に第1回 植草学園理事長杯争奪戦 千葉県特別支援学校ポッチャ選手権大会を開催しました。大会には、千葉県内4校の特別支援学校から8チームが参加し熱戦がくり広げられました。



ポッチャは2020年東京パラリンピックでも正式種目になっています。白い目標球へ赤と青のボールを投げ合い、目標球との距離の近さを競うスポーツで、障害のある人も参加できるスポーツとして考案されました。

当日、本学学生スタッフは、受付や誘導、開閉会式の司会進行、記録、庶務などを担当しました。また、優勝した千葉県立千葉特別支援学校高等部チームとの交流戦も行われ大いに盛り上がりました。

～学生が積極的にボランティア活動を行っています～

植草学園は、建学の精神にある徳育を基本理念にしていることから、地域の子どもから高齢者や障害者等に対するボランティア活動を推奨しています。入学時に全員に配付する、「ボランティア活動ハンドブック」に探し方から、意義、心構えなどを示しています。

ボランティア活動の募集は、保育所・幼稚園、小・中・特別支援学校、各福祉施設、病院など約250の事業所等からあり、年間延べ500名以上の学生が授業の無い日時を利用して積極的に参加しています。2名の「ボランティアコーディネーター」が相談・支援を行っています。



～卒業生からのメッセージ～

私は千葉市の公立保育所で保育士として働いています。学生の時は進路を公立保育所にするか、私立(民間)保育所にするか、とても悩みました。公立・私立にはそれぞれの良さがあると思っています。例えば、公立では研修が充実しており、卒業してからも勉強していくことができ、勤務する保育所の異動があるため、いろいろな人の保育観を知ることができ視野が広がります。私立では、独自の保育スタイルがあるので、自分に合った保育所であれば充実した環境で保育をしていくことができます。こうしたことを踏まえ、私は先生や友だち、家族に相談して、公務員試験を受けることにしました。

保育士をめざすみなさん、進路を決める時は悩むこともあると思いますが、たくさん悩んで決めた道であれば、後悔しないと思うので相談しながらゆっくり考えて決めてください。

大学 発達教育学部 発達支援教育学科 5期生 中村 瑠実  
千葉県立一宮商業高等学校出身



～2017 納涼祭～

7月7日(金)に植草学園大学・短期大学 学友会主催で納涼祭を行いました。お祭りには「子育て支援・教育実践センター」を利用している親子にもご参加いただき、オリジナルデザインのうちわの配布や、抽選会、ヨーヨー釣りなど、楽しい催しでキャンパスがいつにも増して賑やかになりました。七夕の開催ということもあり、会場には短冊に願いを書き込むコーナーも設置され、みなさんさまざまな願いごとを書いていました。



実行委員長の感想



昨年まで「七夕祭り」の名称で行ってきた夏の行事を「納涼祭」に改め企画しました。お祭りらしさを演出するためにはどのようにしたら良いのかを、実行委員の仲間たちと話し合い、新しくヨーヨー釣りなどを行いました。課題や改善すべき点もありましたが、参加いただいた方々の笑顔を見ることができ良い経験になりました。

大学 発達教育学部 発達支援教育学科 2年 竹田 和輝  
岐阜県立飛騨高山高等学校出身



受験生向けのオープンキャンパスや入試の情報を、「LINE@」で発信しています。ぜひ、ご登録(友だち追加)ください!

